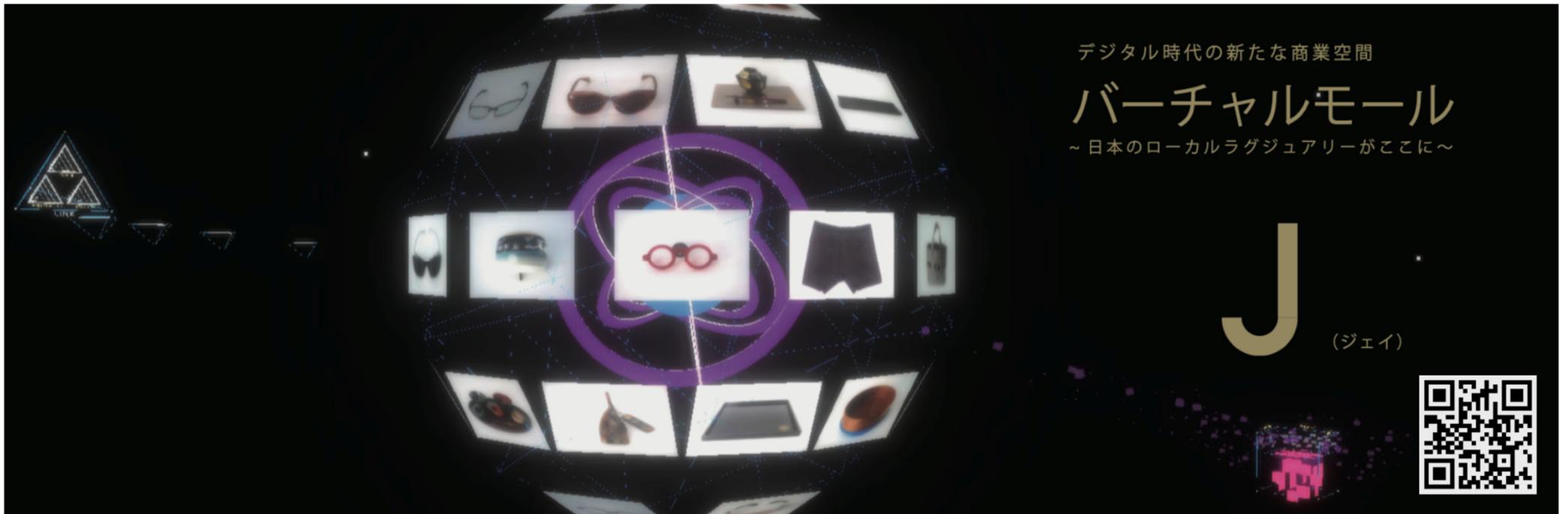




事業名 MADE FROM MONOZUKURI EXPO Virtual mall J

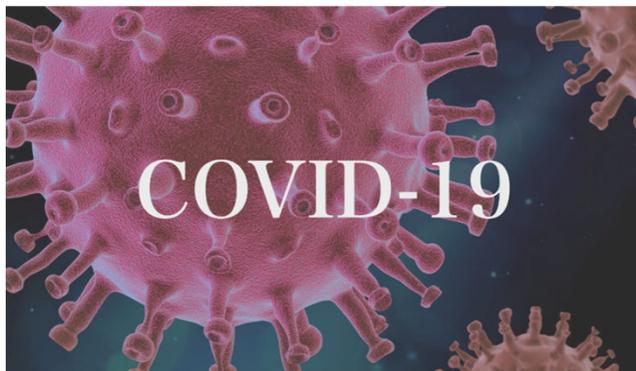


取組の概要

バーチャルモールJは、オンライン上に存在し、世界中どこからでもモノづくりの産地へ旅に出かけることができる、産地と世界を繋ぐ新しいかたちのプラットフォームです。バーチャルモールJをハブにして、インナービューを介し、モノづくり企業の工場や店舗、社屋などモノづくりのリアルな現場を探索する体験が用意されています。また、その場で気に入った製品を購入することもできます。

万博を機に、全国にバーチャルモールを拡大することで、全国の産地が世界に魅力的に発信され、地域経済の発展に繋がることを目指しています。同時に、このイベントを通じて、日本人のホスピタリティー精神が宿る「モノ」が世界中に拡散されることで、世界中の人々の自己肯定感を高め、真の共創による持続可能な社会の実現に寄与することを期待しています。

コロナで閉ざされた 産地の販路

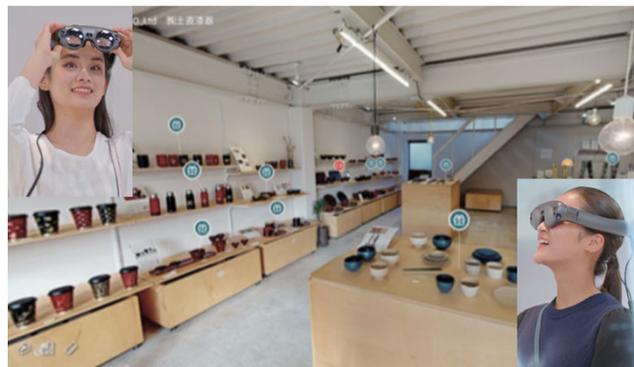


2020年、新型コロナウイルスの感染拡大により、鯖江の眼鏡・漆器・繊維などのものづくり中小企業は、従来の展示会や直接訪問による営業活動が困難になり、販路開拓が最も重要な課題となりました。

また、海外渡航の中止により、市場ではECサイトを通じた海外商品の需要が急速に増加し、市場は国内から国外へと拡大しました。中小企業は国内の商品を効果的に海外の消費者に販売する必要性が生じてきました。

このような状況の中で、当所は従来のものづくり産地へのデザイン支援という枠組みから転換し、全ての中小企業が容易かつ安全に海外展開できる環境を構築するために、「ものづくり産地のデジタルトランスフォーメーション」を最優先事項とし、事業の設計と展開に取り組むことにしました。

デジタル商業空間 “Virtual mall J”



2021年、当所は産地から世界に情報を発信するために、地階を改装してYouTubeスタジオ「U studio」をオープンしました。同時に、全ての中小企業が低予算で簡単に商品を販売できる越境ECサービス「CBS(クロスボーダー鯖江)」も提供を開始しました。

2022年1月にはハイブリッド型ものづくりEXPO「MADE FROM(メイドフロム)」を開催し、12月には新しいデジタル商業空間として「バーチャルモール」をオープンしました。

このバーチャルモールでは、世界中から、PCやスマホから手軽にバーチャルショップや工場見学が楽しめ、商品の購入も可能です。さらに、VRゴーグルなどのデバイスを使用することで、没入感あふれる360°のバーチャルツアーも体験できます。

新モノづくり大国日本を 世界へ



全国には515の商工会議所があります。そのうち171の会議所管内には、さまざまなものづくり産地が存在しています。私たちは、デジタルの力と商工会議所のシームレスなネットワークを活用し、全国の産地にバーチャルモールを展開していきます。

また、最近では地域の特徴や特性を生かした製品が「ローカルラグジュアリー」として国際的に注目されています。このコンセプトに基づき、産地のものづくりを世界に発信していきます。

そして、2025年の大阪・関西万博では、デジタル空間を通じて、日本中のローカルラグジュアリーをこれまでにない体験とともに提供することで、新たなものづくり大国日本として、そのプレゼンスを世界に発揮することを目指しています。



360°EXPO拡張マップ

鯖江商工会議所

MADE FROM MONOZUKURI EXPO Virtual mall J (2023年6月)



問い合わせ先

担当者:鯖江商工会議所 中小企業経営相談所 山田

URL:<https://www.sabaecci.or.jp/>

Mail:keieishienka@sabaecci.or.jp / 0778-51-2801

